



直近40年間の人口の変化をみる

2025 年国勢調査の速報値が出たことを受けて、「わかつく」392 号で 2020 年国勢調査時との差を取り上げましたが、国勢調査において和歌山県の人口が最も多かった1985年(昭和60年)からの40年間で県内の人口はどのように変化したのでしょうか。調べてみると、減少一辺倒ではなかったようです。

1985 年国勢調査人口を 100 としたときの人口指数の推移											
年	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2025	1985人口	2025人口	傾向
県全体	98.8	99.4	98.4	95.3	92.2	88.6	84.9	79.5	1,087,206	864,262	→
和歌山市	98.8	98.1	96.3	93.6	92.3	90.7	88.9	85.2	401,352	341,947	→
海南市	95.8	93.2	89.8	85.9	81.5	77.2	72.0	65.3	67,218	43,905	↘
橋本市	109.5	122.2	124.2	120.7	116.9	112.1	107.2	100.1	56,755	56,820	↗
有田市	98.3	96.8	95.1	90.8	86.4	80.4	75.0	65.1	35,401	23,034	↘
御坊市	95.7	93.6	92.1	88.8	85.8	81.4	77.1	69.0	30,450	21,015	↘
田辺市	97.6	97.6	97.0	93.5	89.6	84.7	79.2	72.9	88,263	64,316	↘
新宮市	94.3	89.7	86.9	83.5	77.8	72.5	67.1	60.2	40,465	24,342	↘
紀の川市	101.1	106.8	108.7	105.3	102.2	97.2	91.3	86.7	64,431	55,851	↘
岩出市	117.0	148.0	171.6	181.1	188.4	190.5	192.3	190.5	28,066	53,479	↗
紀美野町	94.5	89.0	82.4	77.4	69.1	61.2	54.9	48.1	15,037	7,235	↘
かつらぎ町	95.2	92.2	87.5	82.2	76.2	71.0	66.7	60.9	23,924	14,572	↘
九度山町	95.7	90.1	82.1	74.6	67.1	59.2	52.1	46.6	7,395	3,444	↘
高野町	93.7	90.5	75.9	65.7	56.4	47.5	42.1	36.7	7,054	2,589	↘
湯浅町	96.2	93.6	89.7	85.9	76.9	71.1	64.8	58.4	17,171	10,032	↘
広川町	97.8	97.0	92.9	89.6	85.7	80.2	75.3	67.7	9,003	6,095	↘
有田川町	98.5	98.0	97.5	94.5	89.6	86.9	83.3	78.6	30,322	23,819	↘
美浜町	98.7	98.6	97.3	93.6	89.3	82.7	75.9	66.8	9,042	6,040	↘
日高町	98.4	99.3	102.5	105.3	106.6	109.5	110.0	110.1	6,975	7,676	↗
由良町	92.0	86.9	82.2	77.4	70.2	62.9	57.8	50.0	9,273	4,636	↘
印南町	97.1	94.9	92.0	86.6	81.0	76.0	72.7	65.2	10,619	6,927	↘
みなべ町	99.0	97.7	96.5	93.0	88.3	83.5	77.4	70.1	15,261	10,698	↘
日高川町	97.8	96.3	96.7	94.2	87.5	81.4	76.8	69.6	12,006	8,355	↘
白浜町	97.9	98.6	97.2	93.6	89.8	85.2	80.2	73.0	25,264	18,448	↘
上富田町	103.8	108.3	114.2	116.3	116.6	118.0	119.9	118.8	12,702	15,091	↗
すさみ町	93.1	89.5	87.8	78.1	69.8	60.9	54.4	47.4	6,777	3,210	↘
那智勝浦町	92.6	89.6	87.3	81.7	76.8	70.5	63.5	57.2	22,248	12,724	↘
太地町	95.0	90.6	87.6	81.3	75.3	71.6	64.7	62.3	4,314	2,687	↘
古座川町	91.5	84.7	81.3	74.7	67.7	61.6	54.1	47.3	4,584	2,167	↘
北山村	89.4	86.4	92.6	83.1	70.8	65.0	58.9	51.9	686	356	↘
串本町	95.2	89.6	85.2	79.3	72.6	65.8	59.5	50.7	25,148	12,752	↘

広域でも厳しい

市町村ごとではなく、県内を振興局単位の7つのブロックに区切って比較したのが右の表です。

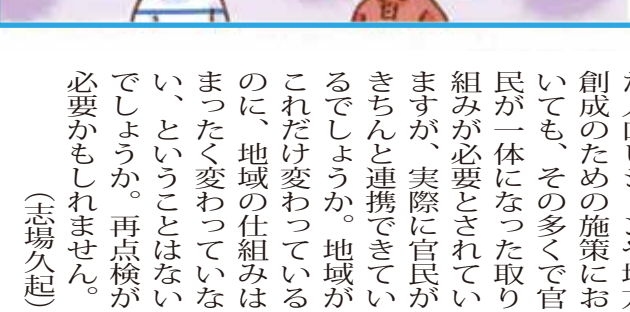
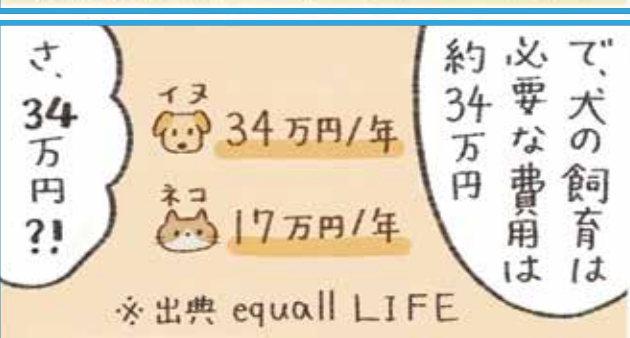
ブロックごとにみると那賀が唯一、40年前よりも人口が増加していますが、これはもちろん岩出市の増加が大きく影響しています。伊都もはじめは橋本市の影響を受けて増加していますが、徐々に減少に転じています。

減少が著しい自治体も

人口が増加した自治体もある一方で、40年間で人口が3割以上減少した自治体は20にのぼります。半減以下となっている自治体も8あります。県内で最も減少率が高いのは高野町となっており、40年間で半分近くまで減らしています。

地域全体の課題に

もはや人口減少を根本から食い止めるのは極めて困難な情勢です。各自治体が策定した人口ビジョンや地方創成のための施策においても、その多くで官民が一体になった取り組みが必要とされていますが、実際に官民がきちんと連携できているでしょうか。地域がこれだけ変わっているのに、地域の仕組みはまったく変わっていない、ということはないでしょうか。再点検が必要かもしれません。(志場久起)



整理収納セミナー

モノが増えても大丈夫！

家族の成長に合わせた『整え』のヒント

親子の毎日を軽やかに♪

お申込みはコチラ

2026

9月26日(土)

13:30~14:30

有田市民会館
紀文ホール 第2会議室
(和歌山県有田市箕島46)

子育て中のママ・パパ

乳幼児同伴OK

無料 P有り

無料20台
有料110台

★本事業は、近畿労働金庫「ろうきん働く人と子どもの明日を応援プロジェクト」として開催します。

★定員になり次第締め切りですが、12月にも同内容の講座を和歌山市内で開催予定です。

どれも大切なこと、見逃したくない

整理収納 子どもの自立 防災

整理収納・子どもの自立・防災の3つの視点から、家族に合った「整え方」をわかりやすくお伝えします。子どもが自分で戻しやすい収納の工夫や、「片づけなさい」を減らす声かけのヒント、日々の片づけをもしもの備えにつなげる考え方を学べる1時間です。

講師 | 吉田 圭美 さん

整理収納アドバイザー

日本防災士会和歌山県支部
女性部会 副会長

子どもが片づけやすい収納も、地震の時に危険を減らす備えも、毎日の暮らしを整えることから。家族を守る片づけの工夫をわかりやすくお伝えします♪